

てしお

議会だより

No.176

令和4年2月22日発行

北海道
天塩町議会



こども園 おひさま「かるた会」

02 定例会

子育て世帯などへ支援金

09 追跡調査～その後どうなった

- ・マイナンバーカードの普及を
- ・空家対策の現状は

03 一般質問 6名が登壇

町政のそこが聞きたい



議会 HPIはこちらからチェック！

補正予算ピックアップ

▶ YouTubeはこちら

- 子育て世帯へ支援金
- 除雪用タイヤショベルなどを購入



第4回 定例会

12月16日

子育て世帯支援金ほか

1億2524万円追加

補正予算

●一般会計

歳入歳出について
総額を48億9094万
円とする補正予算案を
可決しました。

歳出

子育て世帯等臨時特別支援金	3,824万円
病院事業特別会計繰出金	3,000万円
ふるさと応援基金積立金	3,000万円
ふるさと応援寄附金返礼事業	1,800万円
事業継続支援補助金	▲ 1,000万円
除雪用タイヤショベルなど購入経費	1,000万円
その他	900万円

質疑要旨

事業継続支援金

全業者へ拡大は

横山

事業継続支援補助金
は第3回定例会の補正
予算で2千万円が追加
されたが、実際には半分



▲空気清浄機などに補助

しか使われなかったこ
とから今回で減額補正
されている。
予算が使われていな
いのであれば、町内の全
業者に支援を拡大し
てはどうか。

商工観光課長

本事業は新型コロナ
感染予防対策にかかる
経費の一部補助を行う
ものであり、12月15日
現在で35件の申請と
898万円の交付を決
定しています。

支援の拡大について
は、この事業は臨時交付
金を使った事業であり、
町全体の事業に回すこ
とを考へて行わないこ
ととしました。

行政報告

○新型コロナウイルス 感染予防対策

緊急事態宣言は9月
30日をもって解除され、
町では北海道の指針を
踏まえた感染防止対策
を進めています。

ワクチン接種は来年
2月以降に3回目の追
加接種や新規接種希望
者への接種準備を進め
ています。

現在感染力の強いオ
ミクロン株による感染
拡大が懸念されていま
すが、引き続き国や北海
道による感染防止対策
に注視しながら感染防
止に取り組めます。

○農林水産業の状況

農業では生乳生産量
が36171tと昨年
より減少、搾乳農家も2
戸減の73戸となってお
ります。

水産業ではサケの漁
獲量が728tと昨年
と比較して約76%にと
どまり減少しています
が、シジミの漁獲量は昨
年より1t多い32tで
全体の売上は例年より
高い水準となっております。



▲シジミの漁獲量は増加

その他

(主なもの)

○地球温暖化、海水温上
昇に伴う水産漁業被害
の解明と支援策を求め
る意見書

海水温上昇などによ
る水産漁業被害への対
策を国に求める意見書
案を可決しました。

旧施設の 利活用策は

旧観光牧場の現状は

旧観光牧場は平成21年度より国の補助金を利用して作られたが、平成27年度に事業が困難となり運用を休止していることから2点伺う。

①設備などは観光協会が所有しているが、土地は個人の所有物であり、休止以降に地権者と今後について話し合いをしたのか。

②施設に残されたD型ハウスなどの設備は耐用年数を迎えて今後解体などをしていくと考えるが、観光協会に補助金を出している町として、設備の利活用を考えているのか。

町長

①事業を行う際に2名の地権者から民有地を観光協会が借り入れた状態で現在に至りますが、1名については昨年に原状復帰が完了したことから

契約を解除しました。

残る1件についてはD型ハウスやたい肥盤などが設置されていることから、その取り扱いが継続課題となっております。

商工観光課長

②D型ハウスなどの設備は国の補助金を利用して作られており、取り扱いについてはいろいろな課題を精査していかなければならないことから、現在利活用についての具体的な計画は持っておりません。



石山 直継 議員

YouTubeはこちら



旧町民農園の活用を

旧町民農園については、以前の一般質問にて設備を撤去するという答弁があつたが、質問後から現在に至るまでの対応と、土地などを今後利活用していく考えは。



▲残された設備の取り扱いが課題

町長

設備のうち管理棟やビニールハウスを撤去し、今後は尿貯めの撤去や用地の売買などを考えています。

ビニールハウスについては、鉄骨が立派で3、4年前には欲しい町民がいるとの情報も聞いていた。

撤去の際に生じた資材を売却するなどの考えはなかったのか。

総務課長

一般質問から2年ほど経過しておりますが撤去したいことから、地域貢献にて撤去作業を行いました。

資材は地域貢献にあつた業者が全て廃棄処分しました。



▲地域貢献によりプレハブなどを撤去

人口減少へ 新たな対策を

行財政への影響は

本町の各種問題の根本にある人口減少問題について3点伺う。

- ① 過去5年間の人口推移は。
- ② 人口減少が本町の経済や産業構造、住民生活、行財政運営に及ぼす影響をどう分析しているか。
- ③ 将来の人口動向をどう捉え、町勢発展のためにどう講じる考えか。

町長

① 5年間で299人の減少です。

これは出生より死亡が多いことによる自然減、札幌市や留萌市などからの転入より東京都や国外などへの転出が多いことによる社会減の影響があります。

② 人口はピーク時の約3分の1まで減少しており、少子高齢化が著しい状況です。

人口減少に伴う人手不足による地域活力の低下は自主財源の減少に直結し、公共施設の統廃合や行政サービスの見直しなどが求められると分析しています。

多世代にわたり暮らしやすい、住み続けられるまちづくりを実現するため、経済産業や生活環境などさまざまな面から人口減少に歯止めをかける施策展開が重要だと感じます。

③ 結果を真摯に受け止め、地域全体で子育てをサポートできる体制づくりやICTを活用した都市部との格



議員 強 奥国

差是正などを進め、若者が希望をもてる未来の実現に向けて地域と協働でのまちづくりに努めます。

新たな対策の考えは

① ある調査では、移住定住はUターン組が8割を占めているという結果があり、その要因として親や親せきがいる、何度か訪れたことがあるなど、血縁や地縁が大半であるが、移住定住や交流人口増加への対策をどう進める考えか。

② 流出対策や出生率向上対策について以前からあるものだけでなく、新たに実施するものはあるか。

町長

① 移住定住促進住宅はコロナ禍のため昨年くらいから利用を停止してお

YouTubeはこちら

り、施設の管理や使い方についても一度整理していきたいです。

また、施設の近くにある高校の旧教員住宅について北海道と利活用を協議しており、そちらも使いながら出産から始まり若者が定住できる、あるいは移住定住をお迎えできる環境づくりをしていきたいです。

② 人工知能を使った結婚マッチングや、出産のための病院へ行くための環境づくり、子供たちや保護者が集まる場所を提供することなどを考えています。



▲休止中の移住定住促進住宅

町民に寄り添った

役場へ

おくやみ窓口設置は

町民が役場を訪れる際に「手続きや担当窓口がわからない」「雰囲気がい暗い」「誰も声をかけてくれない」などの声を多く聞く。

気軽に役場に来てもらうため、窓口業務の見直しやワンストップ行政サービスの導入が必要だと考えることから次の2点を伺う。

- ①住民の死亡に伴う保険や税金などさまざまな手続きをワンストップで対応できる「おくやみ窓口」を設置してはどうか。
- ②手続きや担当窓口をわかりやすくするため、各種手続きの窓口やカウンターに色を付け、各種文書に手続き窓口を色で示すことで、視覚的に誘導するようにしてはどうか。



横山 敦 議員

町長

①身体が不自由な方などに対し、必要に応じて1か所の窓口で担当職員が入れ替わり対応しています。

「おくやみ窓口」については、遺族に死亡手続きにかかる事項のチェックリストを渡して申請漏れを防いでおり、今後は相談室や応接場所での対応も検討していきたいです。

②看板表示についてどこまでできるかわかりませんが、わかりやすい窓口の案内方式について前向きに考えたいです。

回覧周知の電子化を



▲わかりやすい窓口の整備を

回覧板は周知が遅れるなどの声が聞かれることから、現在の紙による回覧方法に加えて、LINEやホームページにて電子化されたデータを配信することで、町内会への負担軽減や周知が迅速化されると考えるがどうか。

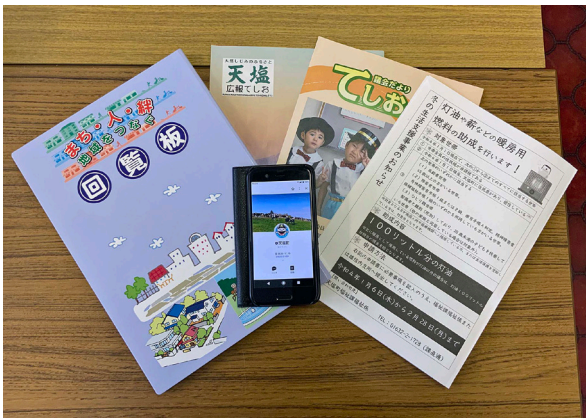
町長

回覧は現在月2回行っており、紙媒体について情報をまとめた形で各戸配布できないかという協議をしています。

電子化による回覧周知についてはホームページの見直しやアプリ、個別受信機の導入などを含めて検討しています。

また、光ファイバーが全域に行きわたることや法律の改正に伴う新たな防災情報システムの整備を検討していることから、これらを活用した行政と町民がなんらかの形で結ばれていく、情報伝達できる体制を早急に進めたいです。

YouTubeはこちら



▲回覧に重層性を

道の駅てしお リニューアルを

ワクチン追加接種 スケジュールは

道の駅改修の考えは

国は道の駅てしおを留萌振興局管内では唯一の防災道の駅として指定し、国の支援を活用しながら広域的な防災拠点となるよう機能強化を進めたいとしている。

道の駅は地域の防災拠点や人の交流、地域コミュニティ、さらには一時避難場所としての施設であり、現在の館内はかなり手狭であると考えるところから次の2点を伺う。

- ① 道の駅を舞台に地域のにぎわいを創出する拠点として、どのような整備構想を描いているのか。
- ② 防災や地方創生、観光などを考えるうえで、道の駅南側に複合的な改修を進めてはどうか。



山本 春光 議員

町長

① これまで購買環境の強化による商業活性化と情報発信力の強化を柱とした取り組みを進めてきました。

次のフェーズとして施設の利便性や快適性の向上、通過型である利用者が長く滞在できる工夫を行うため用途変更を含めた構想づくりを進めており、財源の確保など実現性が一定程度見込まれた際には議員のみならずにもご相談したいと思えます。

② ご指摘の議論を進めたいと考えており、福祉会館の改築も含めた青写真を来年中には示しながらみなさま

のご意見を聴いていきたいです。



▲国の重点支援が行われる道の駅

ワクチン追加接種は

① 新型コロナウイルスワクチンの追加接種について、町としてのワクチン

YouTubeはこちら



道の駅
リニューアル

ワクチン
追加接種



- ① 接種については、2月上旬に医療従事者、中旬に65歳以上の高齢者の方の追加接種を考えており、実施方法はこれまでと同様に町立病院での集団接種を考えています。
- ② 接種証明書はお店や病院などで提示を求められることが想定される。国では年内にアプリなどを運用する予定であるが、町として検査陰性を含めた証明についてどのように対応していくのか。

町長

① 接種については、1月中旬に追加接種にかかるワクチンを確保できる見込みで、1月中旬ごろから対象者へ案内や接種券を発送する予定です。

② 海外渡航用の接種証明書のほか、ワクチン接種の際にお渡しした国内用の証明書についても紛失した方への再発行をしています。

証明書の活用については、提示により施設やイベントの人数上限を緩和できる制度が施行され、今後も活用が見込まれることから現行の紙の証明書に加えて、国で運用を予定しているデジタル証明書を十分周知していきたいです。

実情に見合った

農業振興策を

行政として対応策を

形とすべく、農家や関係機関など意見交換を行いながら見直しを行いました。

①農業振興ビジョンで掲げる農業支援システムは、農家が挑戦したいものを選択、あるいは新しい仕組みを提案しながら関係機関と協力、支援していくものとしているが、一部の農家を除いて行いたいものを見いだしていないのが現状であり、行政として実情に見合った振興策や対応策が必要と考えるがどうか。

②今年は猛暑や干ばつによる乳質の悪化や牧草の収量減などに加え、生産物の出荷に伴う私道除雪料金の値上げがあった。

生産物の出荷に伴う私道除雪に対し行政として支援を行う考えはないのか。

町長

①農業振興ビジョンは実情に即した



見直しでは酪農ヘルパーの不足といった課題を数値的に把握することやビジョンの見直しに役立てた一方で、各農家が何に困っているのか踏み込んでいってほしいとの意見をいただきました。

振興策や対応策については、町だけでなく関係機関と連携や役割分担をしながら、引き続き物心両面での支援に取り組みたいです。

渡辺 修勝 議員



▲道路と牛舎をつなぐ私道

②農家の半数以上が自力除雪する状況であり、また、個々の距離が異なるなど条件が違うことから今年度の支援は困難と考えますが、来年度以降については町全体として関係者と協議していきたいです。

有機農業への考えは

国は化学肥料や農薬を使わない有機農業の普及に向けて「みどりの食料システム戦略」を策定し、交付金新設や新法の提出へと動いている。

新法は地方自治体が基本計画を策定し、有機農業に取り組む農家を支援対象として認定する仕組みを想定しているが、農業振興ビジョンのイメージのひとつである儲かる経営展開に「みどりの食料システム戦略」を組み入れている件についてどう考えているのか。

町長

町が主導する形で有機農業を推進する具体的な計画はありませんが、農家から新たな仕組みとしてご提案やご相談をいただく可能性を視野にいれて、農業振興ビジョンの見直しの際に「みどりの食料システム戦略」について記載しました。

今後は国の動向を見ながら、農家から関連する提案や相談がありましたら対応を検討していきたいです。

YouTubeはこちら

実情に見合った
農業振興策



有機農業
への考え



一般質問

代替施設計画の反映は

- ①国際化、多文化共生の計画と体制づくりにかかる基本構想の策定はどの段階まできたか。
- ②社会福祉会館の構造問題に関連する新たな構想計画策定の現状と課題は精査され、予算に反映されるか。
- ③町内会館について、感染防止や地域活動推進のため空気清浄機を設置してはどうか。

総仕上げの 予算編成は



遠藤 功 議員

町長

①多文化共生・国際交流推進プラン策定の進捗については、今年の6月にアンケートを実施、その結果をもとにプランの素案を作成したところであり、次年度に向けてプランの策定作業を行っています。

次年度ではアンケート結果から得られた課題「互いを知る機会の創出」について関連予算を編成するとともに、地域おこし協力隊の豊富な海外経験やスキルを最大限活用した事業展開を推進していきます。

②老朽化した福祉会館の代替施設としてのひと・まち交流施設の整備については、コロナ禍により町民との合意形成が遅れています。

次年度ではみなさまとひと・まち交流施設の青写真を描くべく予算を編成していきます。



▲町民との合意形成が必要

③コロナ禍で自治会活動を控えたとしても災害による避難に備える必要があることから、緊急指定避難場所に指定されている施設を優先的に空気清浄機の設置を含めた感染防止対策の強化を検討していきます。

YouTubeはこちら



自転車観光へ対策を

- ①国勢調査の結果を踏まえた未来へ負の財産としない行財政運営のあり方についてどう考えるか。
- ②コロナ禍で密を避けるレジャーとして「サイクルツーリズム」が各地で広がりを見せているが、自転車観光への対策に取り組む考えは。

町長

①人口減少や少子高齢化により生活環境や産業、行財政への影響が懸念されることから、コンパクトで持続可能な地域の実現を進めます。

②サイクルラックの設置やレンタサイクルなどの取り組みを行っており、今後は関係機関と協力した観光の振興を図りたいです。



▲道の駅や夕映に設置

追跡調査 その後どうなった？

一般質問

議会だより No.173

石山 直継 議員

マイナンバーカード 普及を



マイナポイント

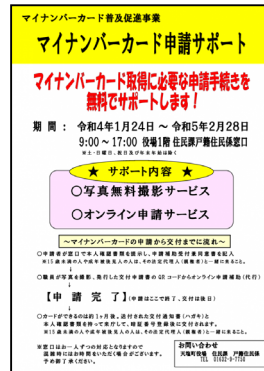
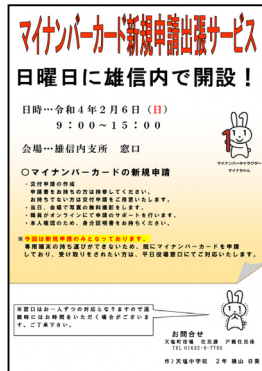


質問 カード普及を

カード普及のため、取得のメリットを感じてもらい説明や休日窓口の継続をしてはどうか。

答弁 出張窓口などを検討

普及(交付)率は令和3年2月末現在で**24.4%**であり、普及率向上のため出張窓口を含めて検討したいです。



雄信内支所出張窓口と申請補助サービスを開始

令和2年度より引き続き休日窓口を開設するほか、令和4年1月より雄信内支所での出張窓口や申請を補助(代行)するサービスを開始しました。

普及(交付)率は、令和4年1月1日現在で**39.0%**です。

総務文教常任委員会

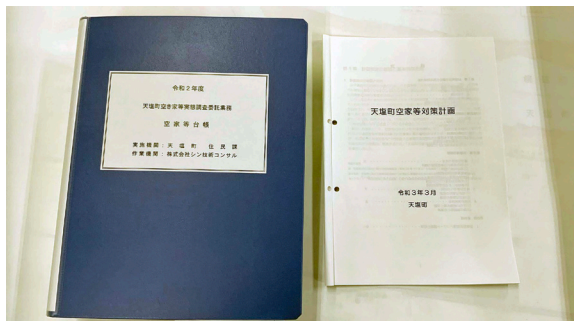
議会だより No.168

空家対策事業

空家対策の現状は



関係課からの聴取や現場視察を行った結果、町が把握していない危険な空家が多数見受けられたことから空家台帳の整備が必要であること、そして、住民が空家によりケガや事故にあわないように協議することが必要と報告しました。



空家台帳・対策計画を策定

空家台帳や空家等対策計画を整備、策定し、今後は空き家の適正管理や利活用の促進、管理が不十分な空き家をなくすための取り組みを計画的に進めます。

